

夜間学校ニュース

1989年 / 月 20日

西成区萩之茶屋2-8-9

旅路の里気付

釜ヶ崎夜間学校

在日朝鮮人・韓国人・中国人の

指紋押なつ拒否断固支持！

定住外国人に市民権を！

主権在民

であるハズなのに

ヒロヒトが死んだ日に、

影響をこうあって、せうか
く就労したのは、ゴスロに

ありつけないまま返された

仲間がいたことは、先週の

夜間学校ニュースで伝えた

が、ヒロヒトの死の影響は

まだまだこれから本番とい

うことのようにだ。

ハッキリしていることは、

二月二四日の葬式の日、

たいがい、いざ、多分、す

での現場が休みになり、

センターへ求人にくる車も

ないだろうということだ。

釜ヶ崎夜間学校も、別に

裏に小くしたわけではな

いが、市民館の方が休館す

るので、金曜日であるにも

かかめらさず、休みというこ

とにせざるをえない。

仕事は休み、夜間学校も

休みということになり、

これはもう、今から計画す

仲間の死

本籍、住所、氏名不詳、

年齢50歳の男、身長154セン

チ、中肉、前頭部がハゲて

いる、着衣白地に黒の縦縞

ポロシャツ、国防色の作業

ズボン、遺留金品煙草(工

コーン)、簡易ライター

右の者は昭和61年7月16

日午前6時5分ごろ、西成

区太子1-15-17市立更生

相談所前歩道上にて発見さ

れたもので、同日午前5時

ごろ同所において肝硬変に

より死亡したものと認めれ

る。身柄引取人不明につき

向破斎場にて火葬に付した。

平成新成人 187万人

いったい、何のつもりで、こんな新聞記事を「カデカと転載するんや」という声があがきこえてきた

総務庁は十四日付で、新成人の人口を発表したが、今年大人の仲間入りをするのは百八十七万人(推計)で、昨年より五万人少ない。男女別では、男子九十六万人、女子は九十一万人で男子が五万人多い。今年の新成人は昭和四十三年一月十六日から四十四年一月十五日までに生まれた人で、全人口に占める割合は一・五%となっている。

(27面に関連記事)

新成人人口の推移をみると、第一次ベビーブーム期(二十二年から二十四年)に生まれ

昨年より 5万人減

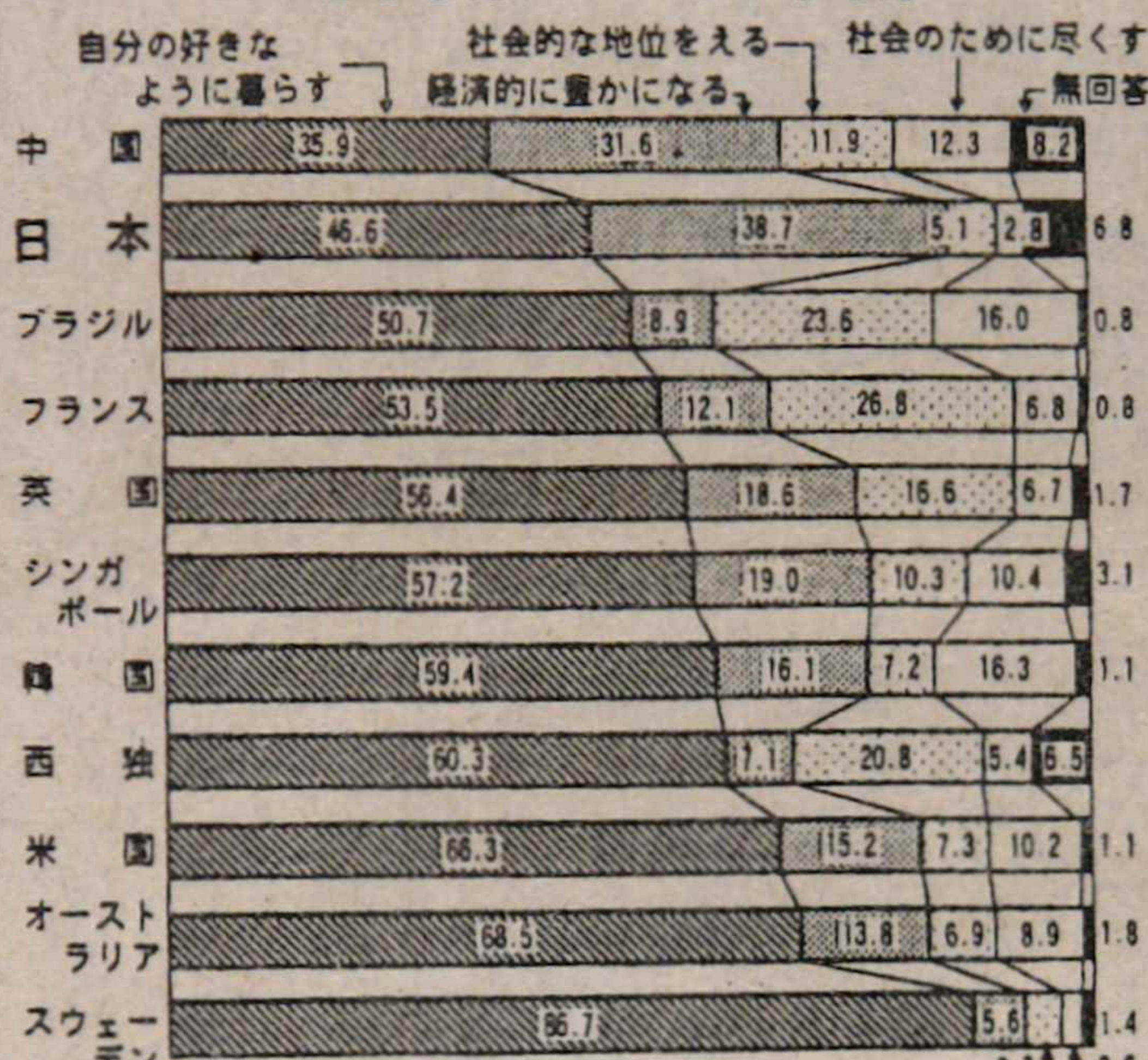
れた人が成人となった四十三年から四十五年にかけては、毎年二百四十万人前後を記録し、ピークだった。その後は五十三年に百五十二万人にまで落ち込み、さらに六十二年には「丙午」(四十一年生まれ)の影響で一時的に百四十万人になった。五十八年から増加の傾向が見られる。このままいくと、第二次ベビーブーム期(四十六―四十九年)に生まれた人が成人になる平成四年から七年には再び二百万人を超えるものと見込まれている。

カネに執着 日本の若者

総務庁 11カ国比較調査

総務庁は、日本を含め十一カ国を対象にした世界青年意識調査の結果を十四日付で発表した。その結果によると各国に比べ日本の青年は収入などおカネに対する不満や悩みを強く抱えていることがわかった。財テクブームで「世の中万事カネ」といった風潮が若者の間に浸透していることが浮き彫りになっている。その一方で国や社会のために奉仕するよりも自分の利益を優先させる「個人生活優先型」の青年像が色濃く出ている。

人の暮らし方についての考え方



この調査は昭和四十七年から約五年に一回ずつ調査しているもので、今回は四回目。調査国は日本のほか米国、英国など十一カ国。十八歳から二十四歳の青年を対象に個別面接方式で調査し、各国千人ずつの調査票を回収した。

☆精神より物質 ☆日本青年の家庭生活での不満はこれまでの調査では「親や夫(妻)が理解しない」「家庭内に争いがある」という精神面での不満が一、二位を占めていた。それが今回、初めて「収入が少ない」が不満のトップに。「家が狭すぎる」が二位で物質的不満が一、二位を占めた。他国をみるとフランス、スウェーデン、中国でも収入が少ないがトップではある。しかし、ほとんどの国は精神面での不満が一、二位のいずれかに入っており、一、二位とも物質的不満というのは日本と中国だけ。さらに「悩みごと」については、これまで「仕事」がトップだったが、今回は初めて「おカネ」が一位になった。

☆「仕事」か「仕事以外」のどちらに生きがいを感じるか、の質問に対して日本では「仕事以外」の生活に生きがいを感じる人が増加し、今回は五六・七%。「仕事以外」の生活に生きがいを感じる人は毎回減少し二一・九%になった。欧米では一般に「仕事以外」の生活に生きがいを感じる人の割合が高く、日本も欧米型に近づいてきている。個人生活の充実が社会に対する寄与のどちらに重点を置くかで、「社会のためにも役立つことをしたい」が三三・四%だったのに対し、「自分自身の生活を大切にしたい」が五三・九%と、個人生活優先派が過半数を占めた。

のだが、じつのところ、あんまり深い考えはない。ただ、金ヶ崎で同じような調査をすること

どんな結果になるだろうかと思っただけの話だ。

大方の予想としては「スウェーデン」型ではなからうか。

それとも、やっぱり、金、金、金の「日本」型だろうか。

ブラジルや韓国は、国内にそれぞれ大きな問題をかかえている国だが、それらの国では「社会のために尽くす」が16%ほどあるようだ。金ヶ崎にも解決すべき問題は多い。とすれば、ブラジル型か「韓国」型になるのだろうか。

「社会的な地位をえる」が、どうやうか、これは思えないので、どちらかといえば「韓国」型に近くなるのかも矢張りない。大穴的にいえば、中国型もありえる。

さて、個人々の集まりが集団である。で、こゝれを語っているそれ

それは、何に重点を置いた生活意識をもっているだろうか。

ある。で、こゝれを語っているそれ

それは、何に重点を置いた生活意識をもっているだろうか。

ある。で、こゝれを語っているそれ

それは、何に重点を置いた生活意識をもっているだろうか。